



日本国際教育学会

JIES NEWSLETTER

February 2026 No. 37

ニュースレター ダイジェスト

- 会長挨拶
- 第36回研究大会報告
- 第36回総会報告
- 2024年度国際研究交流会報告
- 『国際教育』第32号原稿募集
- 第37回研究大会のご案内
- 2025年度国際研究交流会のご案内
- 2025年度日本国際教育学会役員一覧
- 事務局からのお知らせ



第36回研究大会（関東学院大学）



会長挨拶

学会創立 40 周年に向けて

第 35-36 期会長
佐藤千津 (国際基督教大学)

2016 年の夏に思いがけず第 27-28 期会長を拝命してから一心に学会運営に取り組み、気がつけば 10 年を数えておりました。この 10 年、会長として学会にどれほどの貢献ができたかと反省するばかりですが、皆様のご理解とご協力のお蔭で昨年は創立 35 周年を迎えることができました。まもなく 40 周年です。国際教育研究の発展のため、より魅力的で活気のある学会活動を推進してまいりますので、今後ともご協力とご支援をお願い申し上げます。

さて、2025 年の学会活動としては、4 月にオーストラリアから Dr. Hongzhi Zhang (Monash University) を迎え、教育研究における「方法としてのアジア」に関する国際研究交流会（公開）をオンラインで開催いたしました。比較研究のユニークな方法論が反響を呼び、国内外から多くの皆様にご参加いただきました。

10 月には呉世蓮理事を大会実行委員長とし、第 36 回研究大会を関東学院大学で開催いたしました。感染症の影響などで中止してきた情報交換会も 6 年ぶりに実施でき、旧知の皆様はもとより、この 6 年間に入会された皆様ともお会いできたことは大きな喜びでした。

また、昨年は学会公式ホームページの管理形態を変更いたしました。外形的な変化はほぼないのですが、セキュリティ強化及びサイバーリスク管理のため、サーバーとドメインをより安全なものに移行し、その保守管理を専門業者である株式会社 EPOCH-NET に委託しました。サイバーリスクが巧妙化しておりますが、これからはより安全で安心な情報環境を確保したうえで学会の広報活動を進めてまいります。

次に、2026 年の活動計画としては、3 月に国際研究交流会（公開）をオンラインで開催いたします。Zane Diamond 理事が担当し、イギリスから Dr. Eri Mountbatten-O’Malley (Bath Spa University) を講師に迎えます。近年、教育の目的を考えるうえで注目されている “human flourishing” の概念を取り上げ、国際教育の文脈に即してその意義と可能性について考えます。斬新で意欲的な研究です。どうぞご参加ください。

10 月には、第 37 回研究大会を立命館大学で開催いたします。大会担当理事である服部美奈理事や羽谷沙織大会実行委員長を中心に着々と準備が進められているところです。立命館大学は、京都、滋賀、大阪などに複数のキャンパスを有する大規模総合大学ですが、今大会の会場は衣笠キャンパスです。京都の西北に位置し、交通至便な場所にありながら、金閣寺など名刹に近く、静かで落ち着いた環境にあります。京都での開催は 7 年ぶりとなります。3 年前から学生会員は参加無料としておりますので、自由研究発表にも奮ってお申し込みください。

最後に、一日も早く世界中のあらゆる人々に恒久的な平和と安らぎが訪れるることを切に祈ります。また、これから的一年が会員の皆様にとって明るい未来へと続く幸多き日々となり、学会にとっては創立 40 周年に向けた更なる飛躍の年となることを心より願っております。

第 36 回研究大会報告

第 36 回研究大会実行委員長
呉世蓮（関東学院大学）

2025 年 10 月 11 日（土）・12 日（日）の両日、関東学院大学金沢八景キャンパスを会場として、日本国際教育学会第 36 回研究大会を開催いたしました。初日は午前中にやや天候が崩れましたが、参加者の皆さまの温かいご協力のおかげで、全日程を予定通り実施することができました。おかげさまで、大きな支障もなく盛況のうちに大会を終えることができましたことを、心より御礼申し上げます。

両日の参加者総数は 66 名でした。1 日目は午前に自由研究発表（3 分科会）、午後には公開シンポジウムおよび総会を実施し、2 日目は午前に自由研究発表（3 分科会）、午後には課題研究を行いました。各セッションでは、多様なテーマが扱われ、発表者と参加者の間で活発な意見交換が行われました。特に、学生・若手研究者からベテラン研究者まで幅広い世代が一堂に会したことにより、学術的な交流のみならず、実務や地域教育の現場に役立つ議論が多く交わされました。

1 日目の公開シンポジウムには、57 名の方々にご参加いただき、大変大きな成果をあげることができました。本シンポジウムは、横須賀市生涯学習課、横須賀生涯学習センター、横須賀市立横須賀総合高等学校のご協力をいただき、多くの地域の方々にもご参加いただきました。4 名の報告者によるプレゼンテーションでは、生涯学習における空間活用の実践事例や、タイ・韓国の海外事例の紹介などが行われ、質疑応答も非常に活発に交わされました。参加者の皆さまからは、国内外の生涯学習や地域連携の取り組みに関する理解が深まったとの声を多くいただき、シンポジウムは学術的にも実践的にも非常に価値ある場となりました。

また、大会運営にあたっては、関東学院大学の学生の皆さん、趙天歌会員に多大なご協力をいただきました。受付や誘導、会場準備、資料配布などの運営全般を担当していただき、スムーズで温かみのある大会運営を実現することができました。

今回の大会を無事に終えることができたのは、佐藤千津会長、吉田尚史副会長、平山雄大事務局長をはじめとする理事の先生方の丁寧なご指導と温かいご支援、そして会員の皆さまのご理解とご協力のおかげでございます。改めて、深く感謝申し上げます。

皆さまのご尽力があったからこそ、参加者全員が有意義な学びの時間を過ごすことができました。さらに、本大会を通じて、参加者同士のネットワークが広がり、新たな共同研究や地域連携の取り組みの芽が生まれたことも大きな成果です。

なお、次回の第 37 回研究大会は、立命館大学の羽谷沙織先生を実行委員長として開催される予定であり、現在、事務局業務の円滑な引き継ぎを進めております。次回大会におきましても、多くの皆さまにご参加いただき、さらに実りある議論の場となることを心より願っております。

今後とも、日本国際教育学会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第36回総会報告

今年度の総会は研究大会1日目に対面形式で実施されました。出席者が会員の過半数に満たなかつたため、決議は仮決議とし、1か月後までに異議等が示されなければ本決議となることが確認されました。1か月後の11月11日までに質問及び意見はありませんでした。そのため、「日本国際教育学会規則」第5条の規定に基づき、仮決議を本決議とし、すべての議題が原案通りに承認されました。

第36回総会議題

開催日時：2025年10月11日（土） 15時～16時

開催場所：関東学院大学・金沢八景キャンパス 3号館201教室

I. 報告事項

1. 第36回研究大会の開催について
2. 2024年度（2024年8月1日～2025年7月31日）会務報告
 - (1) 学会（会員数）の現況【資料1-1】
 - (2) 2024年度活動報告【資料1-1】
 - (3) 2024年度決算報告【資料1-2】
3. 2024年度会計監査報告【資料1-2】
4. 各種委員会等報告
 - (1) 紀要編集委員会【資料2】
 - (2) 学会賞選考委員会
 - (3) 研究担当
 - (4) 国際交流担当【資料3】
5. 理事の繰り上げ当選について【資料4】
6. ホームページのサーバー及びドメイン移行と保守管理について【資料5】
7. その他

II. 審議事項

1. 2025年度（2025年8月1日～2026年7月31日）事業計画
 - (1) 2025年度活動計画（案）【資料6-1】
 - (2) 2025年度予算（案）【資料6-2】
2. 第37回研究大会の開催日程及び会場について【資料7】
3. 「日本国際教育学会倫理規程（案）」及び「日本国際教育学会研究不正防止のためのガイドライン（案）」の策定について【資料8】
4. 名誉会員の推薦について（案）【資料9】
5. 第37-38期役員選挙 選挙管理委員の選任について
6. その他

III. その他

議長団解任

- 資料1-1. 2024年度（第35期）活動報告（期間：2024年8月1日～2025年7月31日）
- 資料1-2. 2024年度（第35期）会計報告（期間：2024年8月1日～2025年7月31日）
- 資料3. 2024年度国際研究交流会実施報告
- 資料4. 理事の繰り上げ当選について
- 資料5. ホームページのサーバー及ドメイン移行と保守管理について
- 資料6-1. 2025年度（2025年8月1日～2026年7月31日）活動計画（案）
- 資料6-2. 2025年度予算（案）（会計年度：2025年8月1日～2026年7月31日）
- 資料7. 第37回研究大会開催について
- 資料8. 「日本国際教育学会倫理規程（案）」及び「日本国際教育学会研究不正防止のためのガイドライン（案）」の策定について
- 資料9. 名誉会員の推薦について（案）

2024年度国際研究交流会報告

国際交流担当理事
Jeffry Gayman（北海道大学）

2025年4月27日（日）14時より、“Asia as a method in educational studies: From a ‘new’ research imagination to theoretical and methodological innovations”と題して、「方法としてのアジア」を確立したモナシュ大学教育学部のsenior lecturer、Dr. Hongzhi Zhangを講師に迎え、国際研究交流会を開催しました。事前登録者は69名に上り、当日は非会員も含め37名の参加を得て、90分の講演と質疑応答を通して、活発な学びの時間を実現できました。

「教育研究における方法としてのアジア」は、アジアを単なる地理的ないし文化的地域として捉えるのではなく、新たな研究方法を築き上げる土台として位置付けることを提案しています。古典的なヨーロッパ中心主義的枠組みを疑問視し、アジアの文脈、視点、思想を教育の理論と実践に統合することを推奨する方法であって、アジアの一国である日本にとっても、自らの独自の立場を確立する上で有用と期待されます。当日は、概念の歴史的な変遷に関するZhang先生の講義の後、その応用に関する短い報告を博士課程に籍を置いているZhang先生の二人の院生からいただきました。このようにして、概念の具体的な適用についてもご報告いただいたことで、充実した、大変示唆に富む時間となりました。今後は会員によるこの概念の積極的な援用が待ち望まれます。

『国際教育』第32号原稿募集

日本国際教育学会紀要編集委員会では『国際教育』第32号（2026年）の発刊に際し、自由投稿の研究論文、研究ノート、調査報告、教育情報、資料紹介を募集いたします（2026年3月1日必着）。原稿の投稿に関しては、本学会公式ホームページ（<https://jiesofficial.com>）の「学会紀要」のページで最新情報をご確認ください。会員の皆様の積極的なご投稿をお待ち申し上げます。

CALL FOR PAPERS: JOURNAL of INTERNATIONAL EDUCATION, Volume 32

Submissions to the 32nd edition of the Journal of International Education are now being accepted, with a deadline of March 1, 2026. Authors making submissions in English should review the Additional Guidelines for English Manuscripts. Any manuscripts not conforming to this procedure will not be accepted. Authors should also refer to the latest version of this procedure in addition to the Provisions for Editing Bulletins of JIES on the JIES website (<https://jiesofficial.com>) before submission.

第37回研究大会のご案内

第37回研究大会実行委員長
羽谷沙織（立命館大学）

第37回研究大会は下記の通り開催することとなりましたのでご案内いたします。微力ではございますが、皆様にご満足いただける大会となるよう実行委員一同努力して参りますので、ぜひご参加・ご協力をお願いいたします。

日程：2026年10月3日（土）・4日（日）

（予備日：2026年10月10日（土）・11日（日））

会場：立命館大学衣笠キャンパス敬学館1階（〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1）

アクセス：JR・近鉄京都駅から市バス50にて42分、市バス・JRバス快速立命館にて36分、「立命館大学前（終点）」下車。市バス205にて38分、「衣笠校前」下車、徒歩10分。JRバス高尾・京北線にて30分、「立命館大学前」下車。

（詳細は大学ホームページ <https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>をご参照ください）
自由研究発表・大会参加申し込み：別途大会案内をご覧ください。

それでは仲秋の2日間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年度国際研究交流会のご案内

Flourishing and Collective Wisdom: Rethinking Educational Leadership for Global Contexts

近年、「フローリッシング (flourishing)」の概念が国内外で関心を集めています。教育分野においても “human flourishing” とは何か、文化的多様性に対応できるのか、学校や大学での実践をどう変えるのかといった議論がなされています。そこで、この研究で嘱目されるイギリスの Dr. Eri Mountbatten-O’Malley (Bath Spa University) を講師にお迎えし、フローリッシングについて考えてみます。教育におけるリーダーシップに焦点を当てつつ、フローリッシングが個々の学習者だけではなく、学習共同体全体の学びにおいて有する意義と可能性について考えます。特に「集合的フローネシス (collective phronesis)」の観点から、相互的ケア、他者との関係、洞察の共有化などを重視する協働的アプローチに基づいたフローリッシングについて実践的に検討します。哲学的な考察を具体的な教育実践に結びつけながら、国際教育における参加型意思決定の事例等を手がかりにし、文化的境界を越えるフローリッシングの可能性について考えます。

研究会は、2026年3月14日（土）にオンラインで開催する予定です。開催時刻など詳細は決定次第、メールや学会ホームページでお知らせいたします。どうぞご期待ください。

2025年度 日本国際教育学会役員一覧

理事会

役職	氏名	所属	担当
会長	佐藤 千津	国際基督教大学	—
副会長	吉田 尚史	福岡女学院大学	—
顧問	岩崎 正吾	首都大学東京（名誉教授）	—
理事	赤尾 勝己	関西大学	紀要
同	石井 由理	山口大学	紀要
同	上野 昌之	東京都立大学（非常勤）	広報
同	吳 世蓮	関東学院大学	研究大会（第36回）
同	小川 佳万	広島大学	学会賞
同	Jeffry Gayman	北海道大学	国際交流
同	澤田 敬人	静岡県立大学	規程
同	島川 崇	神奈川大学	研究
同	Zane Diamond	Monash University	国際交流
同	玉井 康之	北海道教育大学	研究

同	趙 天歌	関東学院大学（非常勤）	ニューズレター
同	日暮 トモ子	日本大学	総務
同	服部 美奈	名古屋大学	研究大会（第37回）
同	平山 雄大	お茶の水女子大学	事務局
同	前田 耕司	早稲田大学（名誉教授）	リエゾン
同	楊 武勲	国立暨南国際大学	規程

事務局

役職	氏名	所属
事務局長	平山 雄大	お茶の水女子大学

会計監査

役職	氏名	所属
会計監査	小野寺 香	奈良女子大学
同	栗田 梨津子	神奈川大学

各種委員会

役職	氏名	所属
紀要編集委員会 委員長	赤尾 勝己	関西大学
同副委員長	渡部 孝子	群馬大学
同委員	石井 由理	山口大学
同	栗栖 淳	国士館大学
同	寺野 摩弓	国際協力機構
同	平井 華代	追手門学院大学
同	平岡 さつき	共愛学園前橋国際大学
同	米澤 由香子	東北大学
同幹事	田中 達也	釧路公立大学
学会賞選考委員会 委員長	小川 佳万	広島大学
同副委員長	太田 浩	一橋大学
同委員	平岡 さつき	共愛学園前橋国際大学

(紀要編集委員兼任)		
同	澤田 敬人	静岡県立大学
同	楊 武勲	国立暨南国際大学
同幹事	内田 直義	就実大学
第37-38期役員選挙 選挙管理委員会 委員長	工藤 瞳	慶應義塾大学
同委員	地引 優香	聖心女子大学大学院・東京成徳大学
同	二子石 優	東洋大学
同	吉田 太一	青山学院高等部

事務局からのお知らせ

1. 連絡先・ご所属の変更について

ご所属の変更等にともない会員資格や連絡先に変更があるかたがいらっしゃいましたら事務局までメールにてご連絡ください。

【事務局メールアドレス】

jies.office@gmail.com (■を@に置き換えてください)

2. 会費納入のお願い

2025年度（2025年8月1日～2026年7月31日）会費を未納のかたは、ご納入くださるようお願い申し上げます。

【納入先】

郵便振替口座名義：日本国際教育学会

口座番号：00130-7-124562

ゆうちょ銀行 ○一九 店（ゼロイチキュウ店）当座 0124562

3. 新入会員紹介

会員限定公開コンテンツにつき、非掲載とします。

日本国際教育学会 Newsletter No. 37

編集発行 日本国際教育学会 代表 佐藤千津

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学グローバル協力センター

発行所 平山雄大研究室 気付

gies.office@gmail.com

<http://www.gies.gr.jp>

発行日 2026年2月10日